



4. 特許出願、論文発表等、及びトピックス

国内出願	外国出願	研究論文	その他研究発表	プレスリリース 報道	展示会	標準化提案
1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)

※成果数は累計件数、( )内は当該年度の件数です。

(1)国内出願

本研究開発の成果である、行動のパターンから特徴的な属性を推定し、過去に推定した行動パターンと属性推定結果を記憶し新たな来訪者に対してもリアルタイムに行動パターンと属性の推定を行うとともに、推定された行動パターンと属性を用いて配信する情報や配信地域を自動的に選択・変更する防災情報伝達配信を行う方法および装置について、発明の名称「防災情報伝達配信方法および装置」として、特許出願済である。

(2)2017年電子情報通信学会ソサイエティ大会にて公演

2017年9月12日(火)に東京都市大学 世田谷キャンパスで開催された「電子情報通信学会ソサイエティ大会」において、「気象データ・地域ソーシャルデータを活用したリアルタイムデータ解析技術の研究開発」のテーマであるリアルタイム行動分析技術の一つとして実施した「状況認識手法の検討」の概要を紹介した。

(3)その他

上記の国内出願、その他研究発表以外に、実証実験を実施した自治体へ実証実験の計画説明および成果報告を実施した。  
(計画説明、速報、成果報告の計3回)

5. 研究開発成果の展開・普及等に向けた計画・展望

本研究開発で検証された技術は、本研究の受託者であるNTTアドバンステクノロジーが先行してビジネス展開を進める防災情報伝達システムに属性推定、行動分析という新たな機能を付加することで、既存防災情報伝達システムの価値を高め、相乗効果により自治体への導入を加速させることができると期待される。

本研究成果である観光、防災・減災のための防災情報伝達システムを今後5年間に100自治体へ導入することを目指す。